

令和7年度園芸科 「地域資源活用」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸科 3年 A組
教科書	地域資源活用 (実教出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、果実の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、課題を発見し合理的かつ創造的に解決する力を養う。また、地域資源の新たな価値の創造に寄与できるように主体的に取り組む態度を養う。

2 重点目標

農場内にある資材や生産物を使って、ものづくり体験をする。

地域資源の魅力と利用について認識する。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 地域資源とは	1 地域資源活用とプロジェクト学習 (プロジェクトの設定) (作品製作)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが住んでいる地域や学校の周辺に地域資源について考えさせる。 ・地域資源の有効性について学ぶ。 ・身近な地域の魅力を発見する。 ・農村での地域興しの例をあげる ・農村の資源と文化を知る 	農場の観察 地形・樹木・雑草等を観察 ワークシート ワークシート 農村の文化を考える
5	第2章 農山村社会の変化と地域振興	1 農山村の現状と変化	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG sについて学ぶ。 ・自然環境の発見 	SDG sを理解する 行動観察
6			<ul style="list-style-type: none"> ・自然の特徴と自然環境の活用を知る 	
7	第3章 地域資源活用の意義と役割	2 地域活性に向けた取組 (作品制作) 1 地域資源の価値と魅力 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事について学ぶ。 ・農業・農村体験の例をあげる ・農産物の加工 ・和紙の利用 ・農村景観・文化の活用例をあげる ・地域農産物の加工 ・里山の自然 	ワークシート 行動観察 作品制作 行動観察 ワークシート 農村の機能を考える 里山の特徴を考える ノート 行動観察
9	第4章 地域資源の価値と活用	2 地域資源の活用に向けた施策と取組	<ul style="list-style-type: none"> ・観光への活用方法について考察する。 市民農園のあり方について学ぶ。 ・商品開発につながるアイデア例を挙げる。 	ワークシート ノート 行動観察 ワークシート
10		(作品制作)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業への活用方法を学ぶ。 ・教育、福祉への活用例を考える。 	行動観察 ノート

11	第5章 地域と連携した活動	3 実践と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源と観光の結びつきについて考察する。 ・付加価値について学ぶ。 	農業との関係を考える ノート 作品制作 行動観察
12		1 地域資源のマーケティング ブランドづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源のマーケティングについて学ぶ。 ・ブランドが持つ特性を考察する。 	
1	第6章 地域資源の活用と実践	2 ユニバーサルデザイン化 実践例と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインについて学ぶ。 ・ユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・課題について考察する。 ・実践している内容を考察する。 	現状を理解し特徴を考える ノート 行動観察

4 評価の観点

知識・技術	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習を通して、知識と技術を理解し、農業の社会的な意義や役割を理解している。
思考・判断・表現	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。 探究的な学習活動を通して、生物生産の仕組みとその育成や地域環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、農業の振興や社会貢献に主体的活協働的に取り組む力を身につけている。

5 評価の方法

「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」、の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ

- ・遅刻・欠席をしない。
- ・授業の準備（時間を守る、教科書、ノート、服装等）を確実にする。
- ・しっかりした態度で受ける。
- ・実習を伴うので、実習服の準備を忘れない。
- ・作品制作があるので、作業は丁寧に確実に行う。また、のこぎり等の工具を使うので安全に留意する。
- ・コミュニケーション能力を育成する意識を持つ。